

9 教育費

1 教育総務費 2 事務局費

[担当：学務給食課] P. 349

2001 スクールバス運行に要する経費 14,230,080 円 (16,389,405 円)

[国・県 616,000 円 一財 13,614,080 円]

* 特財内訳

[国補：へき地児童生徒援助費等補助金 411,000 円]

[県補：市立小学校適正規模化支援事業費補助金 205,000 円]

○ 目的

遠距離通学となる児童・生徒の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

- ・小文間地区スクールバス運行業務委託 7,128,000 円
- ・小堀地区スクールバス運行業務委託 7,102,080 円

○ 効果

対象児童・生徒に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課] P. 349

2201 通学送迎に要する経費 3,336,461 円 (1,699,272 円)

[一財 3,336,461 円]

○ 目的

遠距離通学となる児童の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

- ・桜が丘小学校通学送迎委託（大留地区） 784,080 円
- ・永山小学校通学送迎委託（市之代・貝塚地区） 1,872,720 円

○ 効果

対象児童に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課] P. 349

2301 教育情報機器整備に要する経費 109,672,555 円 (90,513,281 円)

[その他 1,292,000 円 一財 108,380,555 円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,292,000 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うため、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。

○ 内容

小中学校において、児童生徒が ICT 機器を活用した授業及び教職員が校務事務を円滑に実施するために、教育委員会と学校が情報を共有する教育情報ネットワークを構築したことで、事務の効率化と個人情報の保護を図った。

主な事業費内訳

・教育センターシステムクラウド使用料	34,199,658 円
・教職員用パソコン使用料	19,530,000 円
・ICT活用教育支援スタッフ業務委託料	9,450,000 円
・校務支援システム使用料	5,038,848 円
・教育・校務用パソコン使用料	5,041,440 円

○ 効果

教育情報ネットワークの活用により、教育委員会と小中学校の事務の効率化が図られた。また、教育用(指導用)パソコンを、校内無線 LAN 整備に合わせ、ノート型からタブレット型に入れ替えを行ったことで、ICT 教育環境の充実度が増した。

[担当：指導課] P. 351

3101 いじめ防止対策に要する経費 3,505,574 円

[一財 3,505,574 円]

○ 目的

児童・生徒やその保護者及び教職員からのいじめに関する相談に速やかに対応できるように、専門的な知識と経験を持つスクールカウンセラーや教育相談員を配置して相談体制の強化を図る。

また、いじめの防止等に関する施策の企画、立案についての助言、重大事態が発生した場合に事実関係を明確にするための調査及び再発防止を検討するいじめ問題調査委員会を設置する。

○ 内容

・スクールカウンセラー報酬	1,020,000 円
・教育相談員報酬	306,000 円
・命の授業講演会委託料	703,000 円
・(仮称) いじめ防止対策推進条例検討委員会委員謝礼	306,000 円
・学校生活支援事業教職員研修講師謝礼	520,000 円
・いじめ問題調査委員会委員謝礼	154,000 円

○ 効果

専属のスクールカウンセラーや教育相談員を配置したことにより、いじめや学校生活の悩みについて相談しやすい環境が整備され、いじめの早期発見、適切な対処が可能となった。

また、いじめ問題調査委員会を設置したことにより、いじめ防止対策について外部から検証・助言を受けながら、いじめ問題全体に係る取組を推進する体制が整備された。

1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課] P. 351

2101 奨学生貸付金 4,440,000 円 (3,240,000 円)

[その他 3,695,400 円 一財 744,600 円]

* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 3,695,400 円]

○ 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付け、有為な人材を育成する。

○ 内容

貸付額 国公立大学:月額 30,000 円、私立大学:月額 40,000 円

貸付者数

種 別	29 年度 (内 新規貸付)	28 年度 (内 新規貸付)	27 年度 (内 新規貸付)
国公立大学	5 名(2)	3 名(0)	3 名(2)
私立大学	6 名(2)	5 名(1)	5 名(2)
合 計	11 名(4)	8 名(1)	8 名(4)

○ 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P. 353

0501 教育振興に要する経費 49,474,532 円 (51,141,677 円)

[国・県 1,393,200 円 一財 48,081,332 円]

* 特財内訳

[県補：原子力・エネルギー教育支援事業補助金 1,393,200 円]

○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の激しい社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。英語指導助手(ALT)との連携による授業、児童生徒が暮らす地域から講師を招いて授業を行うことにより、基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせ、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむことができるよう、教育の充実を図る。

○ 内容

- ・ 社会科副読本「わたしたちの茨城県」購入(小学4年生) 510,080 円
- ・ 社会科地図「わたしたちの取手市地図」印刷(小学3年生) 301,320 円
- ・ 社会科地図「取手市全図」印刷(中学1年生) 226,800 円
- ・ 英語指導助手業務委託料 45,144,000 円

英語指導助手(ALT)12人(中学校各校1人・小学校3校に1人配置)を民間専門業者に委託し、英語教育の充実を努めた。また、英語指導助手と児童生徒との交流により国際教育の充実を図った。

- ・ 学校問題解決サポートチーム員謝礼 18,900 円
- ・ 地域人材活用事業講師謝礼 402,000 円
- ・ 理科教育用教材購入 1,393,200 円

○ 効果

学習指導要領に沿って、各教科等のねらいを達成する授業を展開するため、外部講師の効果的な活用を図った。また、県補助金を活用した理科教育用教材の購入や、社会科副読本の作成により教材等の充実が図られ、児童生徒の学習意欲を高めることができた。また、英語指導助手(ALT)の活用により、小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び国際教育の充実が図られた。

また、児童生徒が暮らす地域や、技能を有する講師を招いた授業の中で、地域とのつながりや、様々な技能を学ぶ機会を設けることができた。

[担当：指導課] P. 353

1001 特別支援教育に要する経費 5,258,428円(2,818,825円)

[国県 918,000円 一財 4,340,428円]

* 特財内訳

[国補：地域生活支援事業補助金 612,000円]

[県補：地域生活支援事業補助金 306,000円]

○ 目的

障害のある幼児・児童・生徒を支援し、保護者や教職員からの相談に応じるとともに、市内小中学校の特別支援教育の充実を図る。

○ 内容

(1) 特別支援教育相談員等の配置

幼児・児童・生徒の就学や適応に関する調査及び教職員や保護者に対する相談活動を行った。

・相談件数

区 分	H29年度(173件)	H28年度(178件)
未就学児に関して	83件	82件
在学児童生徒に関して	77件	85件
教職員から	13件	11件

(2) 教育支援委員会の実施

障害のある幼児・児童・生徒の適切な就学のため、医師・特別支援教育担当者等で構成する委員会において就学についての協議・判定を実施した。

・判定人数

区 分	H29年度(89人)	H28年度(137人)
新学齢児	47人	53人
在学児童生徒	42人	84人

(3) 特別支援教育サポート事業の実施

地域における特別支援教育相談体制を充実させるとともに、小中学校等における特別支援教育校内体制の整備と活用に関する支援を行った。

教職員や保護者向けの相談活動「ほのぼの相談会」を実施し、相談記録ファイルや移行連絡シートなどを見直し、切れ目のない支援が行われるようにした。

・「ほのぼの相談会」相談件数

区 分	H29年度(8件)	H28年度(22件)
保護者	0件	18件
教職員	8件	4件

・講演会への参加者

区 分	H29年度	H28年度
特別支援教育講演会	420人	102人

○ 効果

障害のある幼児・児童・生徒の課題について早期に発見できたことにより、幼稚園・

保育所と小中学校が連携して適切な支援を行うことができた。

また、市内小中学校における特別支援教育校内体制を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 355

2301 適応指導事業に要する経費 24,394,576 円 (24,724,358 円)

[国県 257,000 円 一財 24,137,576 円]

* 特財内訳

[県補：地域の教育支援体制等構築事業補助金 257,000 円]

○ 目的

学校に関する悩みをかかえた児童・生徒等に対応するために学校や関係機関との連携のもと、適切な援助指導を行う。不登校等の対応には、その状況に応じた援助指導が必要であり、適応指導教室を開設することにより、学習面、人間関係の面での指導及び支援を継続的に行う。

○ 内容

相談員と指導主事が、適応指導教室や学校において、教科の指導、集団での活動支援、個別の相談業務や対応会議等を行った。これらを通して、児童・生徒が自立しコミュニケーション力をつけ、学校生活に適応できるよう継続的に支援した。併せて、保護者との面談も行い、家庭と連携し、協力体制の強化を図った。

- ・指導主事派遣負担金 9,444,936 円
- ・教育相談員報酬(7人分) 8,534,000 円
- ・子どもと親の相談員謝礼(13人分) 3,498,000 円

○ 効果

教育相談センターにおける相談業務について、指導主事が専門的助言を行うことにより相談業務の充実が図られた。また、不登校児童・生徒のための適応指導教室「ひまわり」では、教育相談員がきめ細かな指導及び支援を行い、平成29年度は小中学生計10人の通室者のうち、2人が学校生活に復帰、3名が適応指導教室に通室しながら小中学校に通学することが可能となった。

年 度	通室者数	復帰数	復帰率
H29	10 人	5 人	50.0%
H28	13 人	8 人	61.5%

子どもと親の相談員を全小中学校に配置し、児童・生徒及び保護者のための相談活動を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 357

3901 移動学習バス委託事業に要する経費 2,109,240 円 (3,039,120 円)

[一財 2,109,240 円]

○ 目的

児童生徒が校外で直接見聞する体験学習を充実させるため、移動に必要なバスを運行して、校外での学習活動を支援する。

○ 内容

民間のバス会社に委託し、主に小学校3・4年生での校外学習に活用した。中学校では職場体験学習やボランティア活動のほか、取手一中の水泳学習において旧取手一中

のプールへの生徒の移動に活用した。

行き先 小学校:常総環境センター、利根川浄水場、市内スーパー、工場等

中学校:市内各事業所、福祉施設、旧取手一中プール

年度	区分	利用校数	利用回数	児童生徒数	バス台数
H29	小学校	14校	34回	1,564人	34台
	中学校	1校	3回	195人	3台
	取手一中水泳	1校	9回	1,110人	9台
H28	小学校	14校	29回	1,642人	41台
	中学校	1校	3回	135人	3台
	取手一中水泳	1校	15回	1,280人	15台

○ 効果

学習内容に関連する公共施設や工場等を直接訪れることにより、児童生徒の学習への関心・意欲を高めることができ、校外での学習の充実が図られた。

[担当：指導課] P. 357

4201 日本語指導員に要する経費 2,369,400円 (2,442,008円)

[一財 2,369,400円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童・生徒及び外国人児童・生徒への日本語の指導を行い、学校生活を支援する。

○ 内容

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者との通訳等

○ 効果

日本の学校生活への適応が図られた。

年度	指導員数	支援対象児童生徒の言語の内訳
H29	8人	中国語1人 ポルトガル語4人 英語2人 タイ語1人
H28	9人	中国語2人 ポルトガル語2人 スペイン語2人 英語3人

[担当：指導課] P. 357

4501 学力向上推進事業に要する経費 3,972,913円 (3,686,627円)

[国・県 1,035,900円 一財 2,937,013円]

* 特財内訳

[県委：学びの広場サポートプラン委託金 1,035,900円]

○ 目的

児童生徒に基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、確かな学力を育成する。また、指導体制や指導方法等の研修を深め、教員の資質向上を図る。

○ 内容

- 7月 夏休み算数スクール講師謝礼 344,250円
 (市立全小学校6学年に学習支援員を各校1人ずつ5日間配置)
 学びの広場サポートプラン講師謝礼(算数) 768,000円

(市立全小学校4・5年に学習支援員を各学級1人ずつ5日間配置)

学びの広場サポートプラン講師謝礼(数学) 211,500円

(希望した市立中学校3校の1・2年に学習支援員を各学級1人ずつ配置)

1～2月 理科特別授業講師謝礼等(小学校28回分) 204,000円

10～3月 土曜日学習支援事業支援員謝礼 355,000円

学力向上に関する特色ある取組経費 2,000,000円

消耗品(教材作成材料代)等 90,163円

○ 効果

研修会を通して教職員の資質向上を図った。研修内容が即授業での実践につながるなど、実効性の高い研修となり、事業の成果向上が見られた。

さらに、小学校4年生以上を対象に長期休業期間中、特に算数における基礎学力の定着を図ることで、児童の学ぶ意欲の向上を図り確かな学力を育成することができた。中学校では平成27年度から始まり、中学1・2年生を対象に、長期休業中や朝自習、定期テスト前の放課後等に実施した。一人ひとりのペースに合わせて数学の基礎問題に取り組むことを通して、基礎学力の定着を図ることができた。

また、理科では小学校に理科特別授業講師を派遣し、理科への興味関心を高めるとともに、小学校理科教育の一層の活性化と充実を図ることができた。

[担当：指導課] P. 357

4801 小中連携教育推進事業に要する経費 1,004,210円(1,205,748円)

[一財 1,004,210円]

○ 目的

中学校生活への適応や学力の向上などをねらった小中連携教育の取組をモデル学区の研究成果を踏まえて、市内の全中学校区において推進する。

○ 内容

小中連携教育を推進するための視点を明らかにし、それを踏まえた具体的施策を各中学校区において実践した。

※小中連携教育推進のための視点

- ① 教科担任制など、中学校生活への適応
- ② 小中教師それぞれの特長を生かした教師間交流
- ③ 児童生徒間の交流
- ④ 生徒指導の一貫性や学校生活への適応
- ⑤ 教育課程の連続性や教育内容の一貫性
- ⑥ 学力向上

事業の取組を充実させるため、9年間を貫くキャリア教育を支援する地域人材の活用や、児童生徒の交流活動に係る移動用バスの運行などの環境整備を行った。

・講師謝礼 420,000円

・児童生徒の交流活動移動用バス代・楽器運搬費 584,210円

○ 効果

中学校生活への適応や小中学校における一貫性のある生徒指導などについて、全中学校区で実践が深まった。小中間の連携が図られ、併せて、小中学校の教師間交流による研修を充実させることができた。また、バスや楽器運送用トラックを活用して児

童生徒の交流活動を充実させた。小中学校が、連携した同一時間帯の避難訓練、小中合同挨拶運動、小中学生が互いの学校を訪問するなどの交流が充実した。

[担当：指導課] P. 357

5001 外部施設を活用した水泳学習推進事業に要する経費

16,210,278 円 (1,935,921 円)

[一財 16,210,278 円]

○ 目的

公共及び民間のプールを活用することにより、小学校3校、中学校5校の水泳学習を夏季以外でも水泳学習を行うことで、計画的・効率的に学習を進め、水泳学習の質の向上を図る。

○ 内容

公共及び民間のプールにおいて、水泳学習を行う。生徒の移動は安全面を配慮し借上げバスを利用した。

・水泳学習業務委託(指導員謝礼・施設管理費等) 8,104,330 円

・生徒移動用バスに要する費用(運転業務・バス借上) 8,105,948 円

○ 効果

平成25年度から永山中学校、平成26年度から藤代中学校が利用を始め、平成29年度から新たに中学校では取手第二中学校、戸頭中学校、藤代南中学校を加えた計5校が利用するようになり、小学校でも平成29年度から白山小学校、取手東小学校、宮和田小学校の計3校において公共及び民間のプールを活用した水泳学習を実施した。屋内プールの利点を生かし、天候に左右されず、年間を通して計画的・効率的に授業を実施することができた。

また、生徒の泳力に応じたきめ細かな指導が可能になったことで、泳力が向上した。

[担当：指導課] P. 357

5401 オリンピック・パラリンピック教育推進事業に要する経費 175,000 円

[国・県 175,000 円]

* 特財内訳

[県委：オリンピック・パラリンピック教育推進事業委託金 175,000 円]

○ 目的

オリンピック・パラリンピック・ムーブメントの普及・推進を図るとともに、スポーツ機運の醸成を図り、児童生徒が生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

○ 内容

障害者スポーツアスリートを招聘して、競技の体験会や講演会を実施したほか、専門家を招いて「おもてなしの心」や「礼法」についての講演を実施した。

○ 効果

障害者スポーツアスリートから体験談を聞いたり実演を見たりすることで、障害者スポーツやパラリンピックへの関心が高まった。また「おもてなしの心」や「礼法」の授業を通して、他者を思いやる心とボランティアマインドが醸成された。

・講師謝礼 120,000 円

1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 359

1001 青少年健全育成に要する経費 10,850,319 円 (10,619,489 円)

[国・県 55,480 円 その他 4,068 円 一財 10,790,771 円]

* 特財内訳

[県補：青少年相談員店舗訪問業務補助金 55,480 円]

[諸収入：特別青少年相談員雇用保険料本人負担分 4,068 円]

○ 目的

青少年センターに配置した特別青少年相談員と各地区から委嘱した青少年相談員を中心に、青少年自身や保護者からの悩みごとや困りごとなどの相談を受けるとともに、学校や関係機関団体と協力して街頭指導を行い、問題行動の早期発見、早期解消を図り、青少年が安心して生活できる街づくりに努める。

また、青少年育成団体に助成を行うことにより、青少年の健全育成に関わる市民活動の活性化を図る。

○ 内容

- ・報酬 青少年相談員報酬 6,288,600 円(月額 9,400 円×53 人×12 か月)
(月額 9,400 円×3 人×11 か月)
特別青少年相談員報酬 2,712,000 円(月額 113,000 円×2 人×12 か月)
- ・負担金、補助及び交付金 4 団体 1,099,800 円

○ 効果

青少年健全育成の意識の高揚が図られ、青少年の心身の健全なる育成を推進することができた。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P. 361

2001 小学校管理に要する経費 229,048,364 円 (225,108,831 円)

[その他 9,091,641 円 一財 219,956,723 円]

* 特財内訳

[使用料：学校開放小学校体育館使用料 1,436,230 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 7,330,000 円]

[諸収入：取手小太陽光発電による売電料 3,528 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 61,368 円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 260,515 円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へと繋げる。

○ 内容

- ・TT(ティームティーチング)非常勤講師を小学校 5 校(永山小、取手西小、久賀小、高井小、山王小)に配置し、課題別学習など多様な学習を展開し、個々に応じたきめ細かな指導を行った。(5,012,084 円)
- ・教育補助員を 14 校に配置し、障害のある児童の生活支援を行った。

(72,677,584 円)

○ 効果

TT 非常勤講師の配置により個々に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が図られた。また、教育補助員を配置することで、障害のある児童の生活支援ができた。

[担当：学務給食課] P. 365

2201 小学校保健衛生に要する経費 27,657,629 円 (27,289,139 円)

[その他 2,007,900 円 一財 25,649,729 円]

* 特財内訳

[負担金:日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460 円×4,365 人=2,007,900 円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施と学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、児童及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医師(25名)、学校嘱託歯科医師(22名)、学校薬剤師(14名)、産業医(14名)の報酬

- ・児童、教職員健康診断委託 委託先:(公社)取手市医師会

小学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	4年	1年	精密検査対象者	4年
H29	4,806人	555人	891人	16人	555人
H28	4,864人	637人	897人	12人	637人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・ 腹囲測定
H29	43人	43人	43人	12人	40人	43人	43人
H28	44人	43人	44人	10人	45人	43人	44人

- ・教職員の「心の健康チェック」(ストレスチェック)の実施
- ・学校環境衛生検査の実施(学校プール水質検査・教室等の環境検査・水道管理検査)
- ・学校保健用備品(学校環境検査機器、聴力検査機器)購入

○ 効果

児童及び教職員の健康の保持増進が図られた。

2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P. 367

2001 小学校教育振興に要する経費 11,107,834 円 (11,495,157 円)

[一財 11,107,834 円]

○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品(14校)10,107,403円

○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習効果が得られた。

[担当：学務給食課] P.369

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 24,912,343円 (23,160,817円)

[国・県 697,000円 その他 2,400,000円 一財 21,815,343円]

* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 697,000円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,400,000円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備及び教材を整備し、良好な学習環境を保つ。

○ 内容

(単位：円)

区分	児童用教材	理科教材	図 書	特別支援 学級教材	合 計
H29	11,821,664	2,123,802	8,738,424	940,143	23,624,033
H28	11,005,720	2,490,226	7,524,872	461,087	21,481,905

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務給食課] P.369

2201 小学校コンピュータ整備に要する経費 45,489,453円 (46,300,349円)

[一財 45,489,453円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、教育情報ネットワークを利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

パソコン使用料 44,517,600円

主にパソコン教室で、1人1台の学習ができるタブレット型パソコンの使用料である。

○ 効果

パソコン教室だけでなく、普通教室や特別教室においてもタブレット型パソコンを活用し、デジタル教材による授業を行うことで、より一層の教育の充実が図られた。

[担当：学務給食課] P.369

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 40,551,241円 (34,918,184円)

[国・県 3,588,730円 一財 36,962,511円]

* 特財内訳

[国補：要保護児童就学奨励費補助金 79,590円×1/2≒39,000円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 6,348,393円×1/2以内≒3,099,000円]

[県補：県被災児童就学支援等事業補助金 450,730円×10/10=450,730円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な小学校児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護及び被災児童就学援助者数（在校生）

区 分	要保護数	準要保護数	被災児童数	合 計
H29	25 人	462 人	6 人	493 人
H28	23 人	437 人	10 人	470 人

※平成 29 年度より入学準備金支給（小学校入学予定者 61 人）

・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H29	272 人	190 人
H28	245 人	167 人

○ 効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 369

2901 小学校特別活動助成に要する経費 2,708,656 円 (2,450,458 円)

[一財 2,708,656 円]

○ 目的

音楽発表・体育大会等を通して児童の活動への意欲を高める。

○ 内容

- ・音楽発表会送迎バス借上料・楽器運搬費 1,318,358 円
- ・陸上記録会補助金 1,310,000 円
- ・賞状印刷代 80,298 円

○ 効果

市音楽会、体育大会等への参加により、児童のスポーツ等への関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課・学務給食課] P. 371

2101 小学校施設整備に要する経費 39,711,388円 (41,176,748円)

〈17,820,000円〉※〈 〉は、うち28年度繰越分

[国・県 5,879,000 円 〈5,879,000 円〉 地方債 11,900,000 円 〈11,900,000 円〉

その他 7,300,000円 一財 14,632,388円]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 〈5,879,000 円〉]

[市債：小学校校内 LAN 改修事業債

〈(17,820,000 円 - 5,879,000 円) × 100% ÷ 11,900,000 円〉]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 7,300,000円]

○ 目的

白山小体育館の床の損傷等、藤代小自家発電設備の劣化が著しいことから改修を行う。
また、取手小、藤代小の電波障害が解消したエリアの支柱等の撤去を行う。

小学校3校（藤代小、宮和田小、桜が丘小）に無線LAN環境を整備することで、市内小学校すべてに無線LAN環境が整備され、パソコン教室に導入されているタブレット型パソコンを普通教室や特別教室でも活用することで、児童のICT教育環境の充実を図る。

学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

○ 内容

体育館改修工事	2,462,400 円
電波障害施設撤去工事	1,845,720 円
小学校消防設備改修工事	5,366,520 円
施設管理営繕工事	11,726,644 円
校内 LAN 改修工事 (藤代小、宮和田小、桜が丘小)	〈17,820,000 円〉

○ 効果

白山小体育館床補修・塗装工事、藤代小自家発電設備改修工事を行い、教育環境の充実が図られた。

藤代小、宮和田小、桜が丘小では、無線 LAN 改修工事を行ったことで、普通教室や特別教室においても、情報の取得がしやすい快適な教育環境にすることができた。

各学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実が図られた。

[担当：教育総務課] P.371

22 小学校建設事業に要する経費 1,186,974,000 円 (378,126,360 円)

〈1,186,974,000 円〉 ※ 〈 〉 は、うち 28 年度繰越分

[国・県 371,062,000 円 〈371,062,000 円〉 地方債 815,800,000 円 〈815,800,000 円〉
一財 112,000 円]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 〈371,062,000 円〉]

[市債：合併特例債 〈(1,186,974,000 円 - 371,062,000 円) × 100% ≒ 815,800,000 円〉]

○ 目的

山王小、六郷小、久賀小において、老朽化の著しい校舎並びに体育館の大規模改造工事（屋根、外壁、内装及びトイレ改修等）を行う。また、耐震化が未了である校舎・体育館においては併せて耐震補強工事を行う。

○ 内容

・山王小学校 〈332,046,000 円〉

校舎大規模改造・体育館耐震補強大規模改造工事監理業務委託料
(8,046,000 円)

校舎大規模改造・体育館耐震補強大規模改造工事 (324,000,000 円)

・六郷小学校 〈274,752,000 円〉

校舎・体育館耐震補強大規模改造工事監理業務委託料 (6,912,000 円)

校舎・体育館耐震補強大規模改造工事 (267,840,000 円)

・久賀小学校 〈580,176,000 円〉

校舎耐震補強大規模改造・体育館大規模改造工事監理業務委託料

〈11,880,000 円〉

校舎耐震補強大規模改造・体育館大規模改造工事

〈568,296,000 円〉

○ 効果

老朽化の著しい校舎並びに体育館の大規模改造工事（屋根、外壁、内装及びトイレ改修等）、併せて校舎・体育館の耐震補強工事を行い、学校環境及び耐震性能の向上が図られた。

2 小学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P.373

2001 給食運営に要する経費 271,435,251 円 (270,800,399 円)

[その他 173,090,348 円 一財 98,344,903 円]

* 特財内訳

[諸収入：小学校給食代（自校分） 173,068,174 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 22,174 円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食を提供する。

○ 内容

主な経費

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検(12校)	1,100,088 円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃(8校)	1,461,780 円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃(8校)	1,160,000 円
給食室害虫防除委託料	給食室等の害虫の防除(14校)	648,000 円
学校給食調理業務委託料	給食調理業務の民間委託(6校) (取手小、白山小、寺原小、永山小、 取手西小、戸頭小)	75,479,040 円
空調機保守点検委託料	給食室空調設備保守点検業務委託 (8校) フロン排出抑制法による給食室 空調機室外機定期点検業務委託 (3校)	414,720 円

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P.375

2101 給食施設整備に要する経費 6,017,959 円 (3,845,033 円)

[その他 1,400,000 円 一財 4,617,959 円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,400,000 円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理の充実を図る。

- 内容
 - 修繕料（施設修理や厨房機器等の修繕） 4,361,023 円
 - 備品購入費（戸頭小業務用冷蔵庫及び六郷小牛乳保冷库等） 1,656,936 円
- 効果

給食室内の衛生管理の充実を図ることができた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P.377

2001 中学校管理に要する経費 70,939,532 円（67,970,014 円）

[その他 5,120,926 円 一財 65,818,606 円]

* 特財内訳

[使用料：学校開放中学校体育館使用料 652,020 円]

[使用料：学校開放中学校武道場使用料 123,470 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 3,900,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 20,867 円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 424,569 円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へ繋げる。

○ 内容

教育補助員を3校(取手一中、藤代中、藤代南中)に配置し、障害のある生徒の生活支援を行った。(4,432,392 円)

○ 効果

教育補助員を配置することで、障害のある生徒の生活支援を行った。

[担当：学務給食課] P.381

2201 中学校保健衛生に要する経費 13,636,680 円（14,077,330 円）

[その他 943,920 円 一財 12,692,760 円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460 円×2,052 人=943,920 円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施と学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医師(12名)、学校嘱託歯科医師(10名)、学校薬剤師(6名)、産業医(6名)の報酬

- ・生徒、教職員健康診断委託 委託先:(公社)取手市医師会

中学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	2年	1年	精密検査対象者	2年
H29	2,417人	474人	936人	2人	474人
H28	2,399人	505人	949人	2人	505人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・ 腹囲測定
H29	45人	46人	46人	4人	47人	46人	46人
H28	35人	35人	35人	3人	36人	35人	35人

- ・教職員の「心の健康チェック」(ストレスチェック)の実施
- ・学校環境衛生検査の実施(学校プール水質検査・教室等の環境検査・水道管理検査)
- ・学校保健用備品(聴力検査機器)購入

○ 効果

生徒及び教職員の健康の保持増進が図られた。

3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P. 383

2001 中学校教育振興に要する経費 6,291,897円(6,059,181円)

[一財 6,291,897円]

○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品(6校) 6,277,897円

○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習効果が得られた。

[担当：学務給食課] P. 383

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 15,984,847円(14,700,637円)

[国・県 631,000円 その他 1,600,000円 一財 13,753,847円]

* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 631,000円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,600,000円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備及び教材を整備し、良好な学習環境を保つ。

○ 内容

(単位：円)

区分	生徒用教材	理科教材	図書	合計
H29	6,811,416	1,639,129	5,497,832	13,948,377
H28	5,312,258	1,816,115	5,052,497	12,180,870

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務給食課] P. 383

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 24,262,832円 (24,349,801円)

[一財 24,262,832円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、教育情報ネットワークを利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

パソコン使用料 23,846,400円

・主にパソコン教室のパソコン使用料に要する経費である。

○ 効果

中学校6校において、デジタル教材を活用した授業を行うことで、より一層の教育の充実が図られた。

[担当：学務給食課] P. 383

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 37,975,206円 (31,926,879円)

[国・県 1,471,747円 一財 36,503,459円]

* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学援助費補助金 115,180円×1/2≒57,000円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 2,209,592円×1/2以内≒1,098,000円]

[県補：県被災生徒就学支援等事業補助金 316,747円×10/10=316,747円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な中学校生徒の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金、新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護及び被災生徒就学援助者数

区分	要保護数	準要保護数	被災生徒数	合計
H29	16人	276人	3人	295人
H28	15人	275人	3人	293人

※平成29年度より入学準備金支給（中学校入学予定者81人）

・特別支援教育就学奨励者数

区分	在籍者数	該当者数
H29	64人	44人
H28	62人	31人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 383

2901 中学校特別活動助成に要する経費 18,191,685円 (18,126,267円)

[一財 18,191,685円]

○ 目的

音楽発表・体育大会(県南大会・県大会・関東大会・全国大会)等を通して生徒の活動意欲を高める。

○ 内容

・音楽コンクール参加負担金	613,600円
・中学校体育連盟補助金(陸上競技大会等運営経費)	530,000円
・市内体育大会補助金(陸上・総体・新人バス代半額補助)	3,346,420円
・関東大会補助金	636,196円
・全国大会補助金	938,384円
・大会派遣用自動車借上料・楽器運搬費	12,045,845円
・消耗品・賞状印刷代	72,640円
・運動部活動外部指導者賠償保険料	@1,850円×5人=8,600円

○ 効果

市音楽会、音楽コンクール、体育大会等への参加により、生徒の音楽やスポーツへの関心・意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課・学務給食課] P.385

2001 中学校施設整備に要する経費 16,929,182円(279,124,240円)

[地方債 3,100,000円 その他 5,524,000円 一財 8,305,182円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 3,218,400円×95%≒3,100,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 5,524,000円]

○ 目的

中学校5校(取手一中、取手二中、永山中、藤代中、藤代南中)において、普通教室や特別教室で、パソコンの更なる利活用ができるよう無線LAN環境を新たに整備するための実施設計を行う。

中学校武道場(取手二中、永山中、藤代中、藤代南中)の非構造部材等(天井・強化ガラス等)の耐震改修工事や一部老朽箇所(屋根・外壁等)の改修工事を進めるため実施設計を行う。

藤代中技術棟屋根の塗装工事を行う等、学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実に努める。

○ 内容

中学校校内LAN改修工事实施設計業務委託料 (取手一中、取手二中、永山中、藤代中、藤代南中)	1,447,200円
中学校武道場非構造部材耐震改修工事实施設計業務委託料	3,218,400円
校舎屋根塗装工事	2,797,200円
施設管理営繕工事	7,977,528円

○ 効果

中学校校内LAN改修工事实施設計、中学校武道場(取手二中、永山中、藤代中、藤代南中)の非構造部材等(天井・強化ガラス等)の耐震改修工事や一部老朽箇所(屋根・外壁等)の改修工事を進めるための実施設計を行い、平成30年度に速やかに工事が実施で

きるよう準備が進められた。

また、各学校施設の営繕工事を実施し、安全な教育環境の充実が図られた。

[担当：教育総務課] P. 385

21 中学校建設事業に要する経費 14,580,000 円 (0 円)

[地方債 13,800,000 円 その他 720,000 円 一財 60,000 円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 14,580,000 円×95%≒13,800,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 720,000 円]

○ 目的

老朽化の著しい戸頭中学校舎の大規模改造工事(屋根、外壁、内装及びトイレ改修等)、併せて武道場の非構造部材等(照明・強化ガラス等)の耐震改修工事実施設計を行い、平成30年度着工に向けて準備を進める。

○ 内容

戸頭中学校校舎大規模改造工事実施設計業務委託料 14,320,800 円

○ 効果

老朽化の著しい校舎の大規模改造工事(屋根、外壁、内装及びトイレ改修等)、併せて武道場の非構造部材等(照明・強化ガラス等)の耐震改修工事実施設計を行い、平成30年度に速やかに工事が実施できるよう準備が進められた。

3 中学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P. 387

2001 給食運営に要する経費 150,629,085 円 (152,172,930 円)

[その他 91,420,166 円 一財 59,208,919 円]

* 特財内訳

[諸収入：中学校給食代(自校分) 91,411,277 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 8,889 円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食を提供する。

○ 内容

主な経費

項目	内容	金額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検(6校)	700,920 円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃(4校)	642,060 円
給食室病虫害防除委託料	給食室等の病虫害の防除(6校)	594,000 円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃(4校)	717,040 円
学校給食調理業務民間委託料	給食調理業務の民間委託(4校) (取手一中、取手二中、永山中、戸頭中)	46,839,600 円
空調機保守点検委託料	給食室空調設備保守点検業務委託(4校) フロン排出抑制法による給食室	200,880 円

	空調機室外機定期点検業務委託 (2校)	
--	------------------------	--

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P. 387

2101 給食施設整備に要する経費 4,884,229 円 (2,128,005 円)

[その他 1,600,000 円 一財 3,284,229 円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,600,000 円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理の充実を図る。

○ 内容

修繕料（施設修理や厨房機器等の修繕）	2,476,693 円
委託料（給食用備品移設業務委託料）	383,400 円
備品購入費（取手一中フライヤー及び藤代南中牛乳保冷库等）	2,024,136 円

○ 効果

給食室内の衛生管理の充実を図ることができた。

4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学務給食課] P. 389

2001 幼稚園管理に要する経費 11,495,782 円 (11,472,776 円)

[その他 3,609,722 円 一財 7,886,060 円]

* 特財内訳

[使用料：市立幼稚園保育料（保護者負担分） 2,504,990 円]

[使用料：市立幼稚園預かり保育料 90,400 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,000,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 14,332 円]

○ 目的

市立幼稚園を運営することにより、幼児教育の振興を図る。

○ 内容

市立幼稚園の入園、施設管理等の運営全般に要する経費である。

年 度	4 歳児	5 歳児	合 計
H29	23 人	29 人	52 人
H28	29 人	23 人	52 人

○ 効果

市立幼稚園の適切な管理と運営により、質の高い幼児教育を提供することができた。

[担当：学務給食課] P. 391

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 659,106 円 (648,271 円)

[その他 6,750 円 一財 652,356 円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @135 円×50 人=6,750 円]

○ 目的

学校保健安全法に基づく健康診断を実施し、園児の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・園医(1名)、園歯科医(1名)、園薬剤師(1名)の報酬
- ・園児健康診断委託 委託先：(公社)取手市医師会

区分	腎臓検診
H29	50 人
H28	52 人

○ 効果

園児の健康の保持増進が図られた。

4 幼稚園費 2 幼稚園振興費

[担当：学務給食課] P. 393

2001 幼稚園就園奨励費補助関係経費 27,527,500 円 (29,522,800 円)

[国・県 8,662,000 円 一財 18,865,500 円]

* 特財内訳

[国補：幼稚園就園奨励費補助金 補助対象経費

27,527,500 円×1/3 以内≒8,662,000 円]

○ 目的

取手市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づき、園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園を奨励し幼児教育の振興を図る。

○ 内容

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
生活保護世帯	0人	0人	0人	0人	0人
市民税非課税世帯 (ひとり親世帯等除く)	0人	1人	4人	3人	8人
市民税非課税世帯 (ひとり親世帯等)	0人	0人	1人	1人	2人
市民税所得割非課税世帯 (ひとり親世帯等除く)	1人	1人	0人	2人	4人
市民税所得割非課税世帯 (ひとり親世帯等)	0人	0人	0人	0人	0人
所得割課税 77,100 円以下 (ひとり親世帯等除く)	2人	3人	6人	5人	16人
所得割課税 77,100 円以下 (ひとり親世帯等)	1人	2人	0人	1人	4人
所得割課税 211,200 円以下	8人	33人	41人	40人	122人
上記区分以外の世帯	4人	8人	15人	14人	41人
合 計	16人	48人	67人	66人	197人

○ 効果

園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園奨励及び幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 393

2002 幼稚園児保育料補助関係経費 6,578,446円(7,070,390円)

[一財 6,578,446円]

○ 目的

幼児教育の振興を図るため、保護者に対して保育料の一部を補助し、幼児教育に係る経済的負担を軽減する。

○ 内容

対象者：取手市在住で私立幼稚園に在園する満3・3・4・5歳児の保護者

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
月額2,500円	16人	57人	78人	81人	232人

補助額 6,562,500円

○ 効果

保護者の保育料に対する経済的負担を軽減し、幼児教育の振興に寄与することができた。

5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 397

2001 成人式に要する経費 1,860,000円(1,704,976円)

[一財 1,860,000円]

○ 目的

成人に達した若者の新たなる門出を祝福し、今後の活躍を願い、成人式典を開催する。

○ 内容

平成29年度新成人の中から市内各公立中学校の推薦を受け、実行委員会を組織し、成人式の企画・運営を委託事業として実施した。

年 度	性別	対象者(人)	参加者(人)	出席率(%)
H29 (H30.1.7実施)	男	523	333	63.67
	女	515	350	67.96
	計	1,038	683	65.80
H28 (H29.1.8実施)	男	501	334	66.67
	女	515	344	66.80
	計	1,016	678	66.73

○ 効果

成人式実行委員会に式典の進行やアトラクション等の企画・運営を委託することで、熱心に意見交換を行い、工夫を凝らした式典が実施できた。さらに記念冊子の編集作業を担当してもらうことで、思い出に残るような冊子を作成できた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 397

2201 生涯学習推進に要する経費 4,980,964円(5,278,671円)

[その他 930,000円 一財 4,050,964円]

* 特財内訳

[諸収入：市民大学講座受講料 930,000円]

○ 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、各分野にわたる学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。

○ 内容

(1)生涯学習フェスティバル

生涯学習活動を実践している団体やサークルによる体験教室や活動発表などを通じて、幅広い世代間の交流と学びの場を提供するため、藤代スポーツセンターを会場にネットワークフェア 2017(来場者約 600 人)と同時開催で実施した。

実施コーナー	実施内容
取手生活学校	牛乳パックで作る小物
ふじしろ野鳥と楽しむ会	野鳥写真の展示

(2)出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」という内容を取りで学遊プラザリーダーバンク及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	H29		H28	
	件数	延べ受講者数	件数	延べ受講者数
リーダーバンク編・講座数	17	516 人	15	410 人
行政編・講座数	36	1,128 人	44	1,416 人

(3)市民大学講座

市民が誰でも参加できる教養・専門講座「市民大学」を開講し、各分野の専門的な知識を持った講師を迎えて、中長期的な講座を開講した。

講座名	開催日	受講者
明治維新への道	4月11日～6月6日	103人
わかりやすい源氏物語Ⅶ	7月18日～8月22日	78人
環境と食から健康を考える	8月24日～9月28日	19人
取手の歴史	10月5日～11月16日	102人
相続・遺言・成年後見と公正証書	12月14日～2月8日	57人
世界遺産への旅	1月23日～2月27日	70人

通常の市民大学に加え、東京大学(東京大学 EMP)から講師を招き、一層多極化し、複雑化する世界においても通用する、課題設定と解決の能力を身につける先端的な、東京大学 EMP 特別講座と市民大学特別講座を開講した。

東京大学 EMP 特別講座

講座名	開催日	受講者
数学のエスプリ	8月21日	126人
宇宙誕生の非常識	8月27日	118人
認知症の撲滅に向けて	10月19日	195人
人口減少と日本経済	11月30日	191人

市民大学特別講座

講座名	開催日	受講者
創年市民大学	9月13日～3月7日	20人
とりで知学・女性プロジェクト	9月11日～3月5日	10人
プラチナ未来スクール ロボット教室	3月30日	50人

特別講演会

講 座 名	開 催 日	受 講 者
「石川啄木の手紙と日記」 講師:池田 功	5月21日	260人
「生きるということ」 講師:家田荘子	2月12日	368人

(4) 農業ふれあい体験事業

委託料 198,000 円(取手市子ども地域活動促進事業実行委員会へ委託)

親子米づくり体験講座

市内全小学校の希望者を対象に、親子で田植え、稲刈りの体験学習を実施した。

事 業 名	実 施 日	場 所	参 加 者
親子米づくり体験講座	5/14(田植え) 7/ 9(自然観察会) 9/10(稲刈り)	農 業 ふれあい 公 園	親子 180 人 (うち台東区民 23 人)

(5) 家庭教育学級

市立幼・小中学校の親を対象に、家庭での教育力の向上及び親同士のコミュニケーションを図る場として、幼稚園・小中学校に家庭教育学級を設置し、社会教育指導員の指導により各学級単位の活動及び全体学習会を実施した。

22 学級 延べ参加人数 3,788 人

○ 効果

生涯学習フェスティバルでは、活動を実践している団体の体験教室に於いて幅広い世代に対して、交流と学びの場を提供することができた。また、親子米づくり体験講座では、親子での自然体験の活動機会を提供し、学校外活動の充実を図ることができた。

出前講座では、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

市民大学講座では、各種講座の専門講師陣により市民に興味のあることについて専門的な知識を与えることができた。また、東京大学の中でも EMP (エグゼクティブ・マネージメント・プログラム) という各分野で活躍する最高水準の教授等を招き、「数学のエスプリ」などの特別講座を開催したことにより時代の最先端の知に触れる機会を提供することができた。

家庭教育学級では、「子育てと仲間づくり」をテーマに、親の学びの場として、子育てに関する情報提供や読み聞かせ、食育、子育て講話、健康づくり、研修視察等様々な学習会を開催し、家庭での教育力の向上を図った。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 399

2301 ネットワークフェア開催に要する経費 109,610 円 (118,179 円)

[一財 109,610 円]

○ 目的

誰もが安心して暮らすことのできる地域をめざし、市民、各種団体、行政のネットワークづくりを行う。

○ 内容

藤代スポーツセンター、県南防災センターを会場に各種団体の展示、模擬店、バザーの出店など、市民団体と市の共同イベント。

・消耗品費	チラシ用上質紙	21,032 円
・燃料費	発電機用ガソリン	5,746 円
・印刷製本費	ポスター印刷代	65,772 円
・手数料	保健所への食品営業許可手数料	10,500 円
・賠償保険料	対人・対物賠償保険料	6,560 円

事務局は教育委員会、まちづくり振興部、福祉部が持ち回りで務める。

平成 29 年度事務局担当課として実施。

○ 効果

「楽しく、笑顔でネットワークフェア 2017」というスローガンのもと、行政と市民・各種団体等が協力し合い、まつりを開催した。ただし、当日は雨天のため約 600 人の来場者となったが、ひとつの市としてのつながりや、人と人のネットワーク形成を図ることができた。

[担当：文化芸術課] P.399

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 3,995,184 円 (4,106,945 円)

[その他 2,061,000 円 一財 1,934,184 円]

* 特財内訳

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,061,000 円]

○ 目的

市民の文化活動及び芸術活動を支援するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	来場者数
第 46 回 取手市文化祭 (取手地区)	11/3, 4, 5 (3 日間)	取手地区の文化祭を取手市文化連盟に委託。 伎芸発表と作品展を開催した。 会場：市民会館・福祉会館 委託料：1,000,000 円	6,093 人
平成 29 年度 取手市藤代 文化祭 (藤代地区)	10 月～11 月 (2 か月間)	藤代地区の文化祭を取手市藤代文化協会に委託。 作品展、体験型催事及び部門発表を開催した。 会場：藤代公民館 委託料：500,000 円	2,798 人
2017 取手美術 作家展	6/17～6/28 (12 日間)	身近な郷土作家による作品展を取手美術作家展 に委託して開催した。38 名が出品。 オープニングセレモニーではギャラリーコンサ ート等、また、一般向けギャラリーツアー、市内 小中学生向けギャラリーツアー(4 日間)実施。 (参加校 8 校、493 名) 会場：取手ウェルネスプラザ 委託料：712,000 円	2,065 人

第48回 取手市民 美術展	10/27～12/4 (うち33日間)	第1部 日本画、洋画、彫刻 85点 第2部 写真、書、工芸、デザイン 70点 第3部 小中学生、特別支援学級 1,193点 会場:とりでアートギャラリー「きらり」 報償費・需用費・役務費:428,224円	3,906人
---------------------	------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------

(2) 市内の文化団体への補助金交付

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	288,000円	団体の運営補助
取手市藤代文化協会	210,000円	団体の運営補助
取手少年少女合唱団	80,000円	団体の運営補助
国際音楽の日コンサート	200,000円	団体の運営補助
取手合唱連盟	130,000円	一般公募補助事業採択

○ 効果

各文化団体への補助金は、市民が行う文化活動の活性化に寄与することができた。また各団体が行う事業は内容を工夫することで来場者が増加した。

(3) 文化振興奨励金

市民の芸術文化の振興を図るため、取手市又は茨城県の代表として関東大会規模以上の芸術文化発表会、コンクール等に参加する個人又は団体に対し、奨励金を交付するものである。

○ 内容

報償費：90,000円

団体名：本陣太鼓（茨城代表）

出場大会：第20回日本太鼓ジュニアコンクール（全国大会）

○ 効果

次世代を担う市内小中学生が出場し、今後の太鼓後継者づくりに貢献した。

また、礼儀や太鼓に向かう姿勢、技術、精神面が育成された。

[担当：文化芸術課] P.401

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 94,094,676円（92,371,925円）

[その他 1,488,000円 一財 92,606,676円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 1,274,000円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 214,000円]

○ 目的

取手市の産業・経済・文化・教養の向上と市民の福祉増進及び住民生活の向上を図る。

○ 内容

(1) 需用費(修繕料):1,501,200円

修繕名	内容	工期	金額
福祉会館トップライト修繕	屋上トップライト修繕	5/18～6/30	1,274,400円
福祉会館3階講座室排煙窓修繕	排煙ラッチ、ワイヤー交換	3/1～3/12	226,800円

(2) 委託料

平成 18 年度から市民会館・福社会館の管理運営に指定管理者制度を導入している。

指定管理者:公益財団法人取手市文化事業団

指定管理委託料:91,018,000 円

年度	施設名	使用件数	入場者数	稼働率 (使用日数/使用可能日数)
H29	市民会館	181 件	51,450 人	53.0%
	福社会館	8,093 件	173,335 人	100.0%
H28	市民会館	112 件	35,163 人	57.0%
	福社会館	8,604 件	186,680 人	100.0%

(3) 使用料及び賃借料:737,100 円

項目	内容	工期	金額
福社会館空調機賃貸料	エアコンリース	12/15~3/31	737,100 円

(4) 工事請負費:523,800 円

工事名	内容	工期	金額
福社会館空調設備設置工事	電気設備工事	12/12~12/15	523,800 円

(5) 備品購入費:214,920 円

項目	内容	金額
市民会館舞台用ローリングタワー	移動式足場 鋼製ローリングタワー4 段	214,920 円

○ 効果

施設の維持管理を適切に行うことによって、文化活動の拠点を市民に提供し文化芸術の振興に寄与した。

[担当:文化芸術課] P.401

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 5,327,648 円 (3,947,647 円)

[その他 1,000,000 円 一財 4,327,648 円]

* 特財内訳

[諸収入:オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 1,000,000 円]

○ 目的

市内に東京芸術大学のキャンパスがあるという環境を活かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の推進を図る。

○ 内容

(1) 東京芸術大学卒業・修了作品展における取手市長賞

市長賞賞賜金:1,000,000 円 (500,000 円×2 人)

第 66 回東京芸術大学卒業・修了作品展において優秀作品 2 点(工芸)に市長賞を授与した。受賞作品は本庁舎に展示した。

種類	作品名	作者
工芸(彫金)	Flowers	清水 理瑚
工芸(漆芸)	うねり	十時 嵩

(2) 市内小中学校と東京芸術大学との文化交流

委託料:小学校(美術)指導 2,358,720 円

中学校(音楽)指導 1,482,624 円

東京芸術大学の学生等が、交流を希望した市立小中学校で美術又は音楽の指導を行った。

- ・美術:小学校の授業で児童に絵画技法等を指導した。(交流校 14 校)
- ・音楽:中学校の吹奏楽部活動で生徒に演奏技法を指導した。(交流校 6 校)

(3)東京芸術大学音楽学部学生によるふれあいコンサート

出演者謝礼:288,000 円

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
5/27(土)	福祉交流センター	弦楽四重奏	4 人	195 人
7/22(土)	藤代公民館	ピアノ	4 人	200 人
12/16(土)	取手ウェルネスプラザ	木管五重奏・金管五重奏	10 人	300 人

○ 効果

東京芸術大学との文化交流は、近隣市町村にはない特色ある貴重な事業である。身近で質の高い芸術に触れられるため、市民、児童生徒及び学校関係者に大変好評であり、文化・芸術の振興及び技術の向上を図ることができた。

[担当：文化芸術課] P.403

3301 アートのあるまちづくり推進に要する経費 42,126,402 円 (35,098,426 円)

[国・県 3,593,000 円 その他 23,214,976 円 一財 15,318,426 円]

* 特財内訳

[国補：文化芸術振興費補助金 3,593,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 900,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 8,500,000 円]

[諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 4,874,976 円]

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 3,940,000 円]

[諸収入：地域の芸術環境づくり助成金 5,000,000 円]

○ 目的

新たな視点に立った文化事業を実施し、取手市から全国へ、文化の発信を行う。東京芸術大学のキャンパスが市内にあるという環境を活かして、東京芸術大学の知識、技術、手法などを活用した他市町村にはない、文化・芸術によるまちづくりの推進を図る。

(1)取手音楽の日「取手 JAZZ・DAYZ」

○ 内容

委託料:4,000,000 円(公益財団法人取手市文化事業団)

取手市民会館及び福祉会館で東京芸術大学、アマチュアバンド、プロバンドの演奏を行った。

○ 効果

取手市内だけでなく市外近郊からたくさんの方が来場し優れた演奏を鑑賞することができた。

(2) ストリートアートステージ作品及びリング制作設置、修繕

○ 内容

アートのあるまちづくりを基本理念として、様々な空間を利用して街そのものを美術館化していく事業の一環で、東京芸術大学に制作委託し、ストリートアートステー

ジに展示した。さらに、すでに展示されていた作品をリング化し、取手駅西口「取手ウェルネスプラザ」に設置できるように加工した。また、ストリートアートステージの照明が破損等で夜間ライトアップが出来ない為、修繕を行った。

修繕料:2,635,200円(ストリートアートステージ照明修繕)

修繕名	内容	工期	金額
ストリートアートステージ照明修繕	照明修繕	8/19～2/19	2,635,200円

委託料:4,500,000円(ストリートアートステージ作品制作)

工事請負費:2,937,600円(ストリートアートステージリング設置)

工事名	内容	工期	金額
取手ウェルネスパークストリートアートステージリング作品設置工事	リング作品設置工事	9/7～11/30	2,937,600円

○ 効果

人々が集う場所に作品を設置することで屋外のアートギャラリーとして芸術を身近に感じ、芸術文化の育成に貢献することができた。

(3)水と緑と祭りの広場イルミネーション

○ 内容

委託料:2,095,200円(藤代イルミネーション実行委員会)

光の芸術に触れ合う機会を提供し行き交う人の目を楽しませることを目的に、藤代庁舎前の公園「水と緑と祭りの広場」にイルミネーションを設置した。イルミネーション事業は、平成26年度から実施しており、平成29年度は「踊るイルミネーション」をコンセプトに人感センサーを導入した。また、夏期にワークショップを開催し、その作品をイルミネーションのパーツとして使用するなどして、イルミネーションの動員につなげる工夫を施した。

○ 効果

人感センサーという新たな取り組みを行い、例年とは異なる角度から光の芸術に触れ合う機会を提供し、芸術文化の育成に貢献することができた。

(4)壁画によるまちづくり

○ 内容

委託料:6,469,000円(取手市壁画によるまちづくり実行委員会)

芸術が生活の中に自然に溶け込んだアートのあるまちづくりを目指し、平成17年度から「取手市壁画によるまちづくり実行委員会」を立ち上げ、東京芸術大学の協力を得ながら、「壁画」制作を中心としたプロジェクトを展開してきた。市民には大変好評であり、環境改善や防犯にも大きな役割を果たしてきた。

平成29年度は国際コンペディションを実施し、応募作品29点のうち大賞に選ばれた守谷市在住のイラストレーターの作品が「取手駅西口 JR 擁壁」に描かれ、全長100メートルの壁画が完成した。

○ 効果

「壁画」を制作することにより、落書きや不法ビラ等をなくし、安全で快適な市民生活を実現し、芸術と市民生活が一体化した個性豊かな美しい街並みが形成された。

(5)取手の芸術活動連携サポート

○ 内容

委託料:700,000円(NPO法人取手アートプロジェクトオフィス)

市で行われる芸術活動をまちの地域資源として捉え、芸術文化団体のアート活動を斡旋する事業や、市民がアートを身近に感じられるようになる事業を展開した。

①「アーティストのための会計・法務相談室」若手アーティスト向けに税金等の会計講座を開催。(29名参加)

②「知ったかアート大学」市民向けにアート初心者講座を開催。(76名参加)

③「とりでアートの日。」と題したとりでアートギャラリー他3会場を使ったワークショップ事業。(6団体・6本)

○ 効果

この事業を通して、技術はあるがそれをどう活用するか悩んでいる若手芸術文化団体の背中を押し、取手の文化芸術の更なる発展に向けて種を蒔くことができた。また、芸術は敷居が高いと敬遠しがちであった市民からは、芸術が親しみやすく感じられるようになったといった声上がるなどの効果をあげた。

(6)井野アーティストヴィレッジ

○ 内容

賃借料:5,687,472円

東京芸術大学と市が連携し、空き店舗となっていた井野団地ショッピングセンターにある一棟をUR都市再生機構より借り受け、東京芸術大学卒業生や若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸提供する。

・UR都市再生機構から市が建物を借り、それを東京芸術大学が中心となって募集した若手芸術家にアトリエとして貸し出す。

・7戸のうち1戸は東京芸術大学が管理のため利用し、市が家賃を負担

・1戸につき2名以上、利用期間2年

・地域との交流及びオープンスタジオへの参加が条件

・賃借人数

スタジオ名	101(管理運営)	102	103	104	105	106	107
賃借人数	2人	4人	3人	4人	4人	4人	5人

○ 効果

24名のアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行った。7月にオープンスタジオを開催し、ワークショップ、トークイベント、アーティスト青空市を行った。また、JR上野駅のステーションギャラリーにおいて代表作家2名による作品展示を行った。空き店舗を利用し地域の活性化を図り、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。

(7)取手アートプロジェクト

○ 内容

補助金:3,240,000円(取手アートプロジェクト実行委員会)

取手アートプロジェクト(TAP)は、平成11年度より市民・東京芸術大学・取手市の三者が連携協力して、地域の特色を活かした芸術活動を行なっているプロジェクトである。

平成29年度事業内容	半農半芸、アートのある団地 等
開催期間	通年
内容	<p>・「半農半芸」は、2018年5月にグランドオープンとなる「藝大食堂」での活動を主に実施し、旧食堂で使用していた食品サンプルケースの中で作品展示を行う「ショーケース」の事業を展開した。延べ9,409名の参加。</p> <p>・「アートのある団地」は、井野団地の施設「いこいの」を活用し、アーティストと市民の橋渡しとなるイベントを実施した。また、空き家解消のために改築を行う「とりでアート不動産」にも取り組んだ。延べ2,005人の参加。</p>

○ 効果

取手アートプロジェクトは、従来のフェスティバル型から通年型のプロジェクトに移行して以来、今年も長期的な視野に立つ企画の枠組みとして「アートのある団地」と「半農半芸」の2つの軸でプロジェクトを展開。取手アートプロジェクトを支えるスタッフの自主的で個性的な企画運営は、評価されるところである。当事業はアートのまち、アーティストの集まるまちとして取手市に潤いをもたらしている。

(8)地域の芸術環境づくり助成金

○ 内容

補助金:5,000,000円 (取手アートプロジェクト実行委員会)

公益財団法人自治総合センター「平成29年度コミュニティ助成事業(地域の芸術環境づくり助成事業)」の助成を受けた事業。「アーティストアズレジデント!郊外型アート・センター準備室2017」の実施。

(9)文化芸術振興費負担金

○ 内容

補助金:3,593,000円 (取手アートプロジェクト実行委員会)

文化庁「平成29年度文化芸術振興費補助金(文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業)」の助成を受けた事業。「創造郊外都市~共創を支えるオーガニック・アートプラットフォーム基盤創造事業」の実施。

[担当:文化芸術課] P.403

3401 市民会館改修事業に要する経費 69,396,210円(264,114,000円)

[地方債 51,700,000円 その他 17,330,000円 一財 366,210円]

* 特財内訳

[市債:市民会館整備事業債 69,030,000円×75%≒51,700,000円]

[繰入金:公共施設整備基金繰入金 17,330,000円]

○ 目的

市民会館は、建築後46年を経過し老朽化が著しく、維持管理費も年々増大している。利用者の安全安心な環境を整備し提供するため、耐震補強工事並びに大規模改造工事の実施設計を行った。

併せて、高圧受変電設備(キュービクル)も導入以来、大規模な改修を行っていないため設備の劣化が激しく、その更新を行った。

また、高圧受変電設備の更新を行う際、発見された微量PCB廃棄物は、PCB廃棄物処理事業基本計画において、平成39年3月までに無害化処理認定施設において、計画

的に処理を完了させることと規定されていることから、近隣市町村の処分状況を踏まえ廃棄処分を行った。

○ 内容

(1) 委託料: 22, 127, 850 円

委託名	内容	期間	金額
PCB 廃棄物処理運搬業務委託料	PCB 廃棄物処理運搬	H29/12/6～ H30/1/31	365, 850 円
市民会館耐震補強・大規模改造工 事実施設計業務委託	耐震補強・大規模改 造工事実施設計	H29/6/7～ H30/2/28	21, 762, 000 円

(2) 工事請負費: 47, 268, 360 円

工事名	内容	工期	金額
市民会館改修工事	高圧受変電設備改修	7/27～10/31	47, 268, 360 円

○ 効果

市民会館の施設管理を適切に行うことにより、文化活動の拠点の提供を行い、市民の文化振興に寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 405

3501 IT 基礎技術講習会に要する経費 1, 049, 946 円 (1, 788, 930 円)

[一財 1, 049, 946 円]

○ 目的

IT 講習会の内容充実と市民の情報収集・発信能力の向上に努める。

○ 内容

急速に進展する情報化社会に対応するため、パソコンボランティアを中心に公民館を利用して成人を対象に IT 講習会を実施した。

○ 効果

パソコンの基本操作やワード、エクセルの入門講座に加えて、デジカメ入門や動画作成等の幅広いニーズに対応した講習会を実施し、多くの受講生の技術向上に寄与した。

[担当：文化芸術課] P. 405

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 6, 880, 297 円 (6, 596, 547 円)

[その他 337, 980 円 一財 6, 542, 317 円]

* 特財内訳

[使用料：アートギャラリー使用料 211, 980 円]

[使用料：市民ギャラリー使用料 126, 000 円]

○ 目的

郷土作家、市民及び行政が一体となり創り上げたギャラリーにおいて、芸術作品の発表の場として、さらには文化・芸術交流の場として幅広い活動を展開する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	入場者数
にこにこ元気なとりでっ子!	8/1～8/31	市内公立、私立保育所(園)・幼稚園 15カ所に通う4歳児、5歳児の絵画と立体工作物を合同で展示。合わせて4カ所の子育て支援センターの取り組みを紹介した。	1,072人
小中学生児童生徒作品展	1/26～2/12	市内小中学生による絵画、書写、科学研究・発明工夫、統計グラフ(県展入選作品を含む)の優秀作品展。	1,454人
「里山の鳥」写真展	2/15～2/28	取手市内に生息する貴重な野鳥の生態を観察した写真展を開催した。	1,350人

(2) アートギャラリーきらり貸出実績

期間	展示名
4/13～4/19	16人+α写真展
4/21～4/26	東日本銀行OBと家族の作品展
6/1～6/6	絵を描く仲間たち展
9/9～9/17	いばら会パステル画展
9/19	MOA美術館児童作品展審査
9/23～9/24	取手市小中学校科学研究作品展・発明工夫展
10/9～10/15	MOA美術館児童作品展
12/15～1/10	いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会応援ポスターコンクール展
3/2～3/8	萌黄の会写真展
3/10～3/16	取手洋画クラブ展
3/23～3/26	聖和会書道展
3/30～4/5	小口一郎版画展

(3) 市民ギャラリーの管理

市民の発表の場として、取手駅東西連絡通路及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸し出しを行なった。

利用件数

ギャラリー名	平成29年度	平成28年度
取手駅市民ギャラリー	37件	51件
藤代駅市民ギャラリー	21件	24件

○ 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 405

3801 放課後児童対策事業に要する経費 118,864,365円(121,568,262円)

[国・県 49,808,000円 その他 44,407,465円 一財 24,648,900円]

* 特財内訳

[国補：子ども・子育て支援交付金 @72,894,000円×1/3=24,298,000円]

[国補：子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金

@60,000円×1/2=30,000円]

[県補：子ども・子育て支援交付金 @54,027,000円×1/3=18,009,000円]

[県補：放課後児童対策事業補助金

放課後子供教室推進事業費補助金 @6,274,500円×2/3=4,183,000円

地域の教育支援体制等構築事業費補助金

@4,932,000円×2/3=3,288,000円]

[負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 41,315,750円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 2,800,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担金 291,715円]

○ 目的

市内の小学校に通う全児童を対象として、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、子どもの健全育成を図る。

○ 内容

子どもの居場所づくり事業と児童クラブ事業を一体化し、平成20年度から「放課後子どもクラブ」として市内全小学校で開設している。

放課後や夏休み等の長期休業中に、小学校1年生から小学校6年生までを対象に、安全で安心な子どもの活動拠点を小学校に設け、工作、絵手紙、手話体験、将棋教室などの体験活動を行った。また、身近な外来生物による生態系問題について、親子を対象とした外来生物講座を開講し、親子で環境問題を考える学習の機会を提供した。

学習アドバイザーの活用や各種ボランティアとの交流など内容の充実に努めた。

放課後子どもクラブ登録児童数(通常利用登録者)

平成30年3月31日現在(単位:人)

小学校名	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合計
取手小	47	51	40	33	22	12	205
白山小	49	42	33	24	17	12	177
取手東小	57	55	60	37	25	24	258
寺原小	30	35	40	37	21	11	174
永山小	30	48	25	25	15	8	151
取手西小	40	28	29	15	25	10	147
戸頭小	63	47	48	40	31	9	238
高井小	27	30	7	11	6	0	81
山王小	4	11	9	5	2	2	33
六郷小	10	6	16	14	4	3	53
藤代小	44	46	31	30	24	5	180
宮和田小	46	41	24	18	19	12	160
久賀小	25	26	20	19	10	1	101
桜が丘小	21	28	21	17	7	2	196
合計	493	494	403	325	228	111	2,054

○ 効果

児童の健全育成のために貢献することができた。また、全学年・全児童を対象としたことで異学年間の交流も図ることができた。

5 社会教育費 2 公民館費

[担当：公民館] P.409

0501 公民館事務に要する経費 54,309,929 円 (842,422,898 円)

[その他 19,641,989 円 一財 34,667,940 円]

* 特財内訳

[使用料：公民館使用料 8,655,640 円]

[手数料：コピー手数料 244,320 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 10,600,000 円]

[諸収入：印刷機使用料 141,609 円]

[諸収入：電話通話料 420 円]

○ 目的

地域に即した特色ある公民館の運営と維持管理を行い、市民の文化教養の向上、利用環境の充実に寄与する。

○ 内容

市内の公民館施設の適切な維持管理を行う。主な経費は公民館の需用費、委託料となる。

- ・ 光熱水費 16,412,143 円 (各公民館施設の光熱水費)
- ・ 委託料 18,401,776 円
(各公民館施設の清掃管理委託、夜間管理委託消防設備保守点検委託、冷暖房機保守点検委託他)
- ・ 備品購入費 10,635,948 円 (公民館施設内備品購入)

○ 効果

公民館の維持管理及び使用時に支障がある備品の交換を行い、利用環境の充実と利用者の利便性を図った。

[担当：公民館] P. 411

2101 公民館活動に要する経費 1,614,923 円 (1,487,147 円)

[一財 1,614,923 円]

○ 目的

市内には、学習活動や地域づくりの中心的役割を担う公民館が 14 館あり、地域に即した生涯学習施設として活用されている。それぞれの地域ニーズに合わせた魅力ある事業を展開し、地域の生涯学習の拠点として、より一層の充実に図る。

○ 内容

市内各地域の公民館において、幅広い年齢層を対象とした講座や講演会等を開催し地域の人たちが身近に参加でき、学べる機会を提供する。

- ・ 報償費 1,085,939 円 (各公民館講師謝礼等)

対象	事業名	期 間	回数	受講者数(人)	事業内容及び結果
青少年	戸頭子どもまつり	7月	1	300	レクリエーションを通じて地域の子どもの交流を図る。
	しめ縄づくり (小学生)	12月	1	35	小学5年、6年生対象のしめ縄講座
	新春子どもの集い	1月	1	200	餅つき大会、どんど焼きを行い、伝統行事や習慣を伝える。
	サマースクール	8月(5館)	5	182	小学生を対象にダンスや和太鼓などの体験型教室や工作教室を実施した。
	クリスマス人形劇	12月	1	200	劇団どんぐりによるクリスマス公演を開催した。
	クリスマスケーキ作り教室	11月	1	45	クリスマスケーキ作りを楽しく学ぶ。戸頭公民館にて、戸頭子どもふれあい広場と共催。
女性	女性学級	年間	各学級 11~12	1学級 16人~34人 8学級(169人)	出合いを大切に視野を広げ、楽しく学習しながら心豊かな人間性を高めた。
高齢者	高齢者学級	年間	各学級 11~12	1学級 15人~100人 3学級(150人)	敬愛される高齢者を目指して、健康・趣味・奉仕活動等を積極的に行い、物の見方や考え方、生きがいを見い出した。
	藤代学園	4月~3月	12	1学級 285人	学習、趣味活動を通じて、社会情勢への円滑な適応を図った。
成人	ふるさと講座	9月~3月	5	165	郷土に関することの学習を通し、郷土愛と交流を深めた。
	着付け教室	7月・12月	2	22	ゆかたや、正月の着物の着付けを学習した。
	お父さんのつどい お母さんのつどい	11月	1	38	高須地区のお父さん、お母さんの研修視察を行い、交流を図る。
	初心者のそば打ち 体験講座	11月	1	14	自分でそばを打つ楽しさと秋の味覚を楽しんだ。
	しめ飾り作り講座	12月 9館	9	189	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。
	体験講座	11月・3月	5	90	永山公民館まつり内で、「生け花」「抹茶の点て方」「手相入門体験」の体験型講座を実施。
一般	さつき展示会	6月	1	63	地域住民によるさつきの展示で地域の親睦を深めた。
	ソフトボール大会	6月	1	50	ソフトボールの振興と地域親善を目指し、互いに交流を深めた。
	ペタンク大会	6・10月	2	112	スポーツ(ペタンク)を通じて、各世代間の交流を図った。
	運動会	5月	2	730	六郷、山王で小学校と合同で開催。
	クリスマスコンサート	12月	1	135	市民参加型のクリスマスコンサートを開催した。

一 般	ファミリー ウォークラリー	11月	1	120	家族や仲間と一緒に地図を片手に歩く ウォークラリーを開催。
	健康づくり講座	9月～2月	7	119	筑波大名誉教授による「認知症予防と運 動」をテーマとして講演会を実施。
	夏まつり	8月	3	1,350	夏の風物詩の盆踊り、模擬店等で、地 域の親睦を深める。
	公民館まつり	2月～3月	12	5,216	作品展示や催しもの等、公民館で活動 する団体による発表と地域交流の場を提 供した。

(2)各公民館利用状況

公民館名	年度	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中 央 公 民 館	H29	福社会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	H28		
小 文 間 公 民 館	H29	1,149	10,545
	H28	1,210	11,219
永 山 公 民 館	H29	2,795	40,792
	H28	2,845	40,549
寺 原 公 民 館	H29	2,440	38,767
	H28	2,249	37,325
井 野 公 民 館	H29	4,216	78,100
	H28	4,397	83,953
戸 頭 公 民 館	H29	4,289	72,689
	H28	4,410	72,621
白 山 公 民 館	H29	2,694	50,054
	H28	2,937	57,414
藤 代 公 民 館	H29	2,436	42,964
	H28	721	16,569
山 王 公 民 館	H29	870	8,343
	H28	950	9,820
六 郷 公 民 館	H29	944	15,517
	H28	1,004	15,602
相 馬 公 民 館	H29	1,137	13,545
	H28	1,422	18,293
相 馬 南 公 民 館	H29	1,678	20,784
	H28	1,768	20,257
高 須 公 民 館	H29	395	4,913
	H28	378	5,553
久 賀 公 民 館	H29	746	8,816
	H28	916	10,959
計	H29	25,789	405,829
	H28	25,207	400,134

○ 効果

地域の特色を生かした、学級講座等の事業を開催し、充実した内容を図ったことで、まちづくりや人づくりを推進させることができた。

[担当：公民館] P. 411

2301 公民館施設整備に要する経費 12,214,905 円

[その他 10,200,000 円 一財 2,014,905 円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金 10,200,000 円]

○ 目的

公民館施設の適切な整備及び工事を行い、市民の利用環境を整える。

○ 内容

市内公民館施設の破損箇所や異常箇所の修繕及び工事を実施し、施設整備を行う。

- ・ 修繕料 4,515,641 円 (各公民館施設の修繕)
- ・ 工事請負費 7,176,600 円
 - 小文間、永山公民館調理室空調設備設置工事 3,720,600 円
 - 久賀公民館駐車場整備工事 3,456,000 円

○ 効果

小文間公民館と永山公民館の調理室空調設備の修繕や久賀公民館の駐車場整備を行い、施設の充実と利用環境整備を図った。

5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P. 413

2001 図書館管理運営に要する経費 24,493,167 円 (44,500,245 円)

[その他 3,236,000 円 一財 21,257,167 円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 3,236,000 円]

○ 目的

利用者に安全で快適な環境を提供するため、適切に施設の維持管理を図る。

○ 内容

修繕等が必要な箇所について、所要の修繕や改修、改修のための設計を行った。

事業名	内容	金額(単位:円)
取手図書館外壁・屋根改修工事实 施設設計業務委託	外壁・屋上防水等の全面改修のため の実施設計	536,760
取手図書館空調集中管理リモコン 修繕	3階空調機管理リモコン装置の取 替修繕	150,000
取手図書館レファレンスルーム排 煙窓他建具修繕	故障戸当たりの取替修繕、非常口 扉歪み矯正、2階男子トイレ扉修 繕	97,200
取手図書館レファレンスルームブ ラインド修理、2階事務室出入口 ドアクローザー交換修理	故障ブラインドカーテン1箇所と 故障ドアクローザー1箇所の取替 修繕	64,800
ふじしろ図書館空調機修繕	加湿エレメント交換他	518,400
ふじしろ図書館自動ドア修繕	自動扉開閉装置、センサー交換 3台分	1,101,600
ふじしろ図書館温水洗浄便座取付	10基	406,080

ふじしろ図書館児童書架雨漏り修繕	外壁等シーリング打替え	313,200
ふじしろ図書館玄関前縁石修繕	L=9m	97,200

○ 効果

利用者に安全で快適な環境を提供するため、修繕等については緊急性や効果を考慮しながら実施し、諸設備の機能回復及び保全に努めた。

[担当：図書館] P. 415

2101 図書館活動に要する経費 87,125,462円 (59,772,303円)

[その他 864,429円 一財 86,261,033円]

* 特財内訳

[手数料：コピー手数料 118,240円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金 700,000円]

[諸収入：電話通話料 20円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 44,269円]

[諸収入：印刷機使用料 1,900円]

○ 目的

市民の多様化するニーズに対応すべく、読書環境の整備と奉仕活動の強化に努め、利用者へのより質の高いサービスと有意義な図書館資料の提供を図る。

○ 内容

(1) 主な事業

- ・ 図書館システム更改並びに市立図書館－学校連携事業（ほんくる）の開始
本の魅力を発信する図書館 Web サービス並びに、学校図書館と市立図書館とのシステム間連携が実現した。
新図書館システム賃借料(7～3月) 28,022,760円
※旧図書館システム賃借料(4～6月) 3,570,043円
- ・ 子育て支援 ブックスタート事業（年間24回628冊）
乳幼児・児童向け読み聞かせ（延べ207回開催 参加者2,862人）
- ・ 学校との連携 学校図書館への支援
学校図書館システム検討会議2回
市教研図書館部会でのシステム研修会2回
学校司書研修会1回
学校システム連絡会3回
学校訪問おはなし会(市内小学校14校 3・6年生対象959人)
- ・ 図書館だより ライブラリープラス(6回発行)、ほんバナ(4回発行)
- ・ 図書館まつり 取手図書館(5/22 1,700人)
ふじしろ図書館(4/23 2,054人)

(2) 登録者数

(単位：人)

年齢別 登録者数	0～ 6歳	7～ 12歳	13～ 15歳	16～ 18歳	19～ 22歳	23～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60歳 ～	合計
H29	680	4,777	2,324	1,872	2,424	3,345	5,507	6,748	4,188	12,952	44,817
H28	706	2,524	1,800	1,908	2,180	3,233	5,481	6,578	3,960	12,352	40,722

H27	709	2,684	1,834	2,163	2,572	3,834	6,270	7,142	4,323	13,009	44,540
H26	712	2,703	1,882	2,098	2,359	3,575	6,143	6,500	4,052	12,167	42,191
H25	701	2,777	2,113	2,399	2,925	4,652	7,579	7,073	4,556	13,116	47,891

(3)利用状況

・入館者数

館名	入館者数(単位:人)				
	H29	H28	H27	H26	H25
取手図書館	152,153	159,144	171,288	172,237	171,750
ふじしろ図書館	167,906	179,787	192,766	192,403	195,856
合計	320,059	338,931	364,054	364,640	367,606

・館別貸出者数

館名	貸出者数(単位:人)				
	H29	H28	H27	H26	H25
取手図書館	67,132	78,628	83,757	83,777	83,358
ふじしろ図書館	63,687	80,870	85,640	87,990	87,637
戸頭公民館図書室	32,441	38,081	38,872	39,413	41,226
小文間公民館図書室	225	295	272	327	274
寺原公民館図書室	4,022	4,406	4,390	4,265	4,119
永山公民館図書室	867	917	862	686	566
ゆうあいプラザ図書室	2,627	3,310	3,138	3,002	3,202
井野公民館	1,383	1,926	2,051	1,940	1,779
取手駅前窓口	5,466	4,968	5,173	4,898	4,485
山王公民館	104	98	99	126	144
六郷公民館	401	466	625	652	652
相馬南公民館	535	503	478	553	443
久賀公民館	0	0	0	0	4
合計	178,890	214,468	225,357	227,629	227,889

・貸出冊数(一般)※個人貸出のみ

館名	貸出冊数(単位:冊)				
	H29	H28	H27	H26	H25
取手図書館	235,419	239,826	251,604	258,776	260,781
ふじしろ図書館	224,526	242,875	254,961	262,406	264,307
戸頭公民館図書室	98,180	103,153	104,196	106,913	116,045
小文間公民館図書室	479	528	565	765	730
寺原公民館図書室	8,704	8,727	8,894	8,862	8,175
永山公民館図書室	2,462	2,149	1,901	1,338	1,156
ゆうあいプラザ図書室	6,605	7,547	7,106	7,271	7,884
井野公民館	2,575	3,612	3,865	3,757	3,431
取手駅前窓口	10,914	8,711	9,508	8,754	8,135
山王公民館	178	146	136	167	231
六郷公民館	728	778	1,058	1,089	1,174
相馬南公民館	837	758	719	905	706
久賀公民館	0	0	0	0	7
合計	591,607	618,810	644,513	661,003	672,762

・貸出冊数（小学生・中学生）※個人貸出のみ

小・中学校への配送数	貸出冊数(単位:冊)				
	H29	H28	H27	H26	H25
	3,672	—	—	—	—

・予約(リクエスト)利用状況

予約(リクエスト)件数	予約件数(単位:件)				
	H29	H28	H27	H26	H25
	103,501	106,453	109,609	110,485	110,470

○ 効果

図書館主催、ボランティアとの共催により、市民の読書活動、または図書館そのものに対する関心を高めるような事業を実施した。さらに、新図書館システムを活用し、学校図書館を子どもたちが本と出会うためのサービス窓口として積極的に位置付けた。その他、ブックスタート事業を引き続き実施するなど、子どもの読書活動推進につながる事業を行った。

[担当：図書館] P. 417

2201 図書館資料購入に要する経費 34,361,183 円 (33,719,800 円)

[その他 1,069,528 円 一財 33,291,655 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,000,000 円]

[諸収入：図書弁償金 34,216 円]

[諸収入：広告掲載料 35,312 円]

○ 目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

○ 内容

図書館の収集方針に基づき、資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・H29 年度館別購入数

館名	図書		雑誌	
	購入冊数	購入金額	購入種類	購入金額
取手図書館	5,335	11,194,773	78 誌	712,210
ふじしろ図書館	6,292	11,234,827	88 誌	911,531
戸頭公民館図書室	2,359	4,103,704	30 誌	290,917
計	13,986	26,533,304	156 誌	1,914,658
館名	新聞		AV	
	購入種類	購入金額	購入件数	購入金額
取手図書館	15 紙	375,635	79 点	132,329
ふじしろ図書館	17 紙	506,263	188 点	928,383
戸頭公民館図書室	10 紙	277,511	11 点	56,862
計	20 種類	1,159,409	278 点	1,117,574

※新聞の購入種類は、同銘柄の夕刊も 1 紙とし、合計欄は全館での銘柄数を記載した

・館別蔵書数（各年度末日現在）

館名	図書(単位:冊)				
	H29	H28	H27	H26	H25
取手図書館	137,933	135,601	134,617	131,555	132,611
ふじしろ図書館	140,143	137,735	133,998	125,903	129,117
戸頭公民館図書室	57,850	56,546	56,236	55,718	56,704
小文間公民館図書室	2,401	2,365	2,338	2,578	2,521
寺原公民館図書室	4,129	4,518	4,760	5,006	4,967
永山公民館図書室	4,713	4,614	4,537	5,002	5,434
ゆうあいプラザ図書室	9,894	9,854	9,552	8,559	12,223
合計	357,063	351,233	346,038	334,321	343,577

館名	雑誌(単位:タイトル数)				
	H29	H28	H27	H26	H25
取手図書館	90	77	94	93	101
ふじしろ図書館	94	90	97	96	112
戸頭公民館図書室	30	30	32	32	31

館名	AV(単位:件)				
	H29	H28	H27	H26	H25
取手図書館	486	325	299	270	199
ふじしろ図書館	5,307	5,108	4,918	4,753	4,578
戸頭公民館図書室	88	78	61	0	0
合計	5,881	5,511	5,278	5,023	4,777

○ 効果

各館の特徴を活かした資料収集・整備に努めたことで、利用者サービスが拡大した。

5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当：教育総務課] P. 417

2001 文化財保護に要する経費 3,721,585 円 (968,234 円)

[その他 526,360 円 一財 3,195,225 円]

* 特財内訳

[諸収入：市史売却代 525,500 円]

[諸収入：市史・郷土史郵送料本人負担分 860 円]

○ 目的

文化財は市民共有の財産であり、地域の歴史の歩みを後世に永く伝える貴重な資料であるため、文化財保護法や県・市条例等により文化財保護が義務付けられている。市内の国・県・市指定文化財の保護・活用に努め、未指定の文化財についても調査を進める。

○ 内容

(1) 指定文化財補助金交付 412,000 円

指定文化財等補助金交付要綱に基づき、指定文化財の日常管理や修理・整備に対して補助金を交付した。

(単位:円)

指定	指定文化財の名称	日常管理補助金	防災設備保守点検補助金	その他
		定額	補助率 7/8	【 】は補助率
国	竜禅寺 三仏堂	10,000	62,000	
県	本多作左衛門重次墳墓(本願寺)	10,000		
	大日山古墳(岡神社)	10,000		
	地藏ケヤキ(高源寺)	10,000		
	長禅寺 三世堂	10,000	31,000	
	東漸寺 山門・観音堂	10,000	37,000	
市	八坂神社 本殿・拝殿	10,000	51,000	
	白山神社 本殿	10,000	37,000	
	中妻貝塚(福永寺)	10,000		【1/2】 84,000 [維持管理(草刈り)]
	阿弥陀如来坐像(金仙寺)	10,000		
	絹本金箔地刺繍釈迦涅槃図(信楽寺)	10,000		

(千円未満切り捨て)

(2) 文化財保護強調週間に伴う特別公開

11月1日から7日の文化財保護強調週間に合わせ、県・市指定文化財「旧取手宿本陣」において市民大学特別講座の開催、及び県指定文化財「長禅寺三世堂」の特別公開を実施した。

- ・市民大学特別講座(会場：旧取手宿本陣)

開催日	内容	来場者	備考
11/4	市民大学特別講座(会場本陣主屋)	41人	「弘道館－震災復旧から世界遺産へ－」講師：小坪のり子先生(弘道館主任研究員)

- ・長禅寺三世堂特別公開

公開日	内容	来場者	備考
11/3～11/5	内部特別公開	461人	

(3) 書籍『ふるさと探訪』の発刊

平成20年度から『広報とりで』で連載が始まった「ふるさと探訪」のうち、平成29年度までに掲載の90回分をまとめて書籍化し、販売した。

- ・『ふるさと探訪』印刷製本費 1,166,400円

(4) 旧山崎家住宅部材調査

昭和63年に復元可能な状態で解体され寄贈された旧山崎家住宅の部材の状態を確認するための調査を実施した。

- ・旧山崎家住宅部材調査業務委託料 1,911,600円

○ 効果

文化財の保存・管理について、管理者の負担軽減を図るため補助金を交付するとともに、維持・修理を計画的に実施することができた。また、文化財の特別公開、及び郷土史や文化財を紹介する「ふるさと探訪」の書籍化により、市民の文化財に対する理解

と意識の高揚に寄与した。さらに、旧山崎家住宅の部材調査により、寄贈から29年が経過した部材の保存状態が良好であることを確認した。

[担当：教育総務課] P. 419

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 8,427,757円(7,222,093円)

[その他 192,000円 一財 8,235,757円]

* 特財内訳

[諸収入：本陣駐車場使用料 192,000円]

○ 目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	来場者	平均	内容
H29	週3日 (金・土・日)	163日	6,348人	38.9人	・修復工事のビデオを随時放送。 ・土間でパネル展を実施した。 ・小学校などの団体見学では、職員が説明を行った。
H28	週3日 (金・土・日)	163日	7,881人	48.3人	同上

(2) 管理・運営経費

・一般公開に関する主な経費

内 訳	支 出 額
公開日受付業務委託料	1,769,355円

・維持管理に関する主な経費

内 訳	支 出 額
史跡指定地・駐車場賃借料	3,386,082円
屋外消火栓ポンプ呼水槽修繕料	300,240円
主屋二の間鴨居上小壁漆喰修繕料	116,640円
日常管理委託料	492,480円
庭園維持管理委託料	804,600円
樹木伐採委託料	577,800円
機械警備委託料	90,720円
消防用設備保守点検委託料	171,720円

○ 効果

旧取手宿本陣の一般公開は、市民の歴史や文化財に対する関心を高めているとともに、見学者の約6割が市外からの訪問者となっている。また、JRの「駅からハイキング」期間中などに特別公開日を設け、市の魅力ある観光資源として見学者の利便性の向上に努めている。さらに、旧取手宿本陣の現状を保護、維持しつつ取手ひなまつりのイベント会場に提供し活用を図っている。

[担当：教育総務課] P. 421

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 1,460,468円(1,427,313円)

[その他 25,400 円 一財 1,435,068 円]

* 特財内訳

[諸収入：郷土史売却代 25,400 円]

○ 目的

取手市埋蔵文化財取扱い要領に基づき土木工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確認調査や発掘調査に迅速に対応する。発掘調査によって貴重な埋蔵文化財を記録する。

○ 内容

市内遺跡確認・緊急調査の概要

確認調査(試掘)や個人住宅の発掘調査を、市が実施した。

遺跡名・事由・面積	期 間	内 容
新屋敷遺跡(戸頭) 集合住宅・480 m ²	4/26	奈良平安時代住居跡 1 棟、遺物なし
台畑遺跡(岡) 店舗・177.88 m ²	確認調査 5/11～16 本調査 5/31～6/26	平安時代住居跡 1 棟 縄文土器、平安時代の土器(須恵器、土師器)等
野々井地内 個人住宅・484.41 m ²	5/12～16	縄文時代前期の遺物包含層を確認
北中原遺跡(井野台 3 丁目) 宅地造成・1077.72 m ²	6/7	遺構、遺物なし

【主な経費】

- ・市内遺跡確認調査発掘作業委託料 385,248 円
- ・機器使用料(バックホウ使用料) 108,000 円

○ 効果

平成 29 年度は、縄文時代から奈良・平安時代までの 3 遺跡 4 件を調査し、縄文土器などの貴重な資料が出土した。調査により、重要な市内遺跡の破壊を防ぎ、貴重な資料を得ることができた。

[担当：教育総務課] P.421

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 765,893 円(739,109 円)

[一財 765,893 円]

○ 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料の収納、整理、研究を実施する。これらの成果を市民に紹介するため、企画展示・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対する関心を高めるとともに、文化財保護行政に関する理解を深める。

○ 内容

(1)年間来館者数

年 度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度
来館者数	5,901 人	5,601 人	5,366 人

(2) 展示活動

展示名	期間	来館者数 (1日平均)	経費	内 容
第41回企画展「貝塚を読み解く－中妻人の豊かな食卓－」	H29/2/15 ～4/23 開館61日 内4/1日から20日	2,334人 (38.3人) 4/1から 401人 (20.1人)	報償費、印刷製本費は平成28年度予算で対応(4/1以降は支出なし)	H4に中妻貝塚で発見された多数合葬墓から出土した骨の分析から判明した、縄文時代の人々の食生活の傾向を紹介した。
第42回企画展「村のお殿様」	H29/7/25 ～10/1 開館60日	1,691人 (28.2人)	印刷製本費 326,160円 (ポスター、解説図録)	本多作左衛門重次はじめ、取手に領地を得て殿様として村を治めた旗本たちを、村や村人たちとのつながりから紹介した。 歴史講座1(7/29)参加者208人 歴史講座2(9/2)参加者131人 歴史講座3(9/17)参加者111人
第43回企画展「取手の古墳」	H30/2/15 ～4/22 開館59日 内 H30/3/31 まで40日	2,842人 (48.2人) H30/3/31 まで 2,336人	報償費 30,000円 印刷製本費 326,160円 (ポスター、解説図録)	日頃大きく取り上げられることのない市内にある3つの古墳群を中心に副葬品や埴輪などを展示し、取手市の古墳時代をH30/3/10講演会「取手の古墳時代を語る」参加者112人 講師：諸星政得先生(市文化財保護審議会会長) 考古学講座(H29/3/3)参加者119人

○ 効果

活動により平成29年度の埋蔵文化財センター来館者数は5,901人と年々増加傾向にある。市民の郷土史、市内文化財への関心が高まるとともに、文化財保護行政に対する理解を深めることができた。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 425

1001 スポーツ推進委員に要する経費 1,389,660円 (1,240,460円)

[一財 1,389,660円]

○ 目的

市民の体力づくりと地域スポーツ活動の振興及び生涯スポーツの振興を図る。

○ 内容

市民のスポーツ活動促進のための組織の育成や、各種大会への指導助言と協力に努めた。

スポーツ推進委員報酬 日額6,300円×延べ198人=1,247,400円

○ 効果

スポーツ推進委員の活動により、地域スポーツの振興が図られ、多くの市民の健康と体力づくりに寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 425

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 9,277,000円 (9,337,000円)

[一財 9,277,000 円]

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
体育協会	31部	6,900人	体協親睦会・講演会の開催、視察研修 各種講習会の開催、機関紙の発行、市主催 行事への協力及び参加、競技別大会の企画 運営、指導者の育成
スポーツ少年団	9連盟 33単位団	指導者 292人 団員 1,071人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室 の企画運営、認定員養成講習会、取手ブ ロック近隣市町村交流会、市主催行事への協 力及び参加、各種講習・研修会への参加

○ 効果

体育協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。また、スポーツ少年団は、青少年のスポーツ指導はもちろんのこと認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 425

2002 社会体育振興関係経費 904,735 円 (1,160,514 円)

[一財 904,735 円]

○ 目的

市民の健康・体力づくりとスポーツ振興を図る。

○ 内容

生涯スポーツを通じて、心身の健康を保持・増進できるよう、誰もが参加できる各種の大会や体験会を実施した。

事業名	参加人数	場所
第22回 小学生ドッジボール大会	178人	藤代スポーツセンター
第14回 市民親睦ソフトボール大会	163人	取手緑地運動公園
第26回 ソフトバレーボール大会	187人	取手グリーンスポーツセンター
第18回 グラウンドゴルフ大会	180人	北浦川緑地
第46回 新春健康マラソン大会	2,045人	取手緑地運動公園
第25回 ふれあいウォーキング	223人	とりかんコース
第12回 市民ペタンク大会	99人	北浦川緑地

○ 効果

各種大会を通じて小学生から高齢者まで幅広くスポーツの楽しさを広めるとともに、市民相互の交流が深められ、参加者の健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 425

2003 スポーツ振興奨励関係経費 2,843,000 円 (2,615,000 円)

[一財 2,843,000 円]

○ 目的

スポーツ大会出場奨励金を交付することにより、市民スポーツの高揚並びに競技意欲の向上を図る。また、選手も上位大会を目指すことができ、ひいては日本代表や国体選手の育成に繋がることを目的とする。

○ 内容

関東大会以上の大会に出場した者に対し、奨励金を支給することにより出場選手の負担の軽減と優秀選手の育成を図った。

年度		関東大会	全国大会	国際大会
H29	団体	3 件	12 件	2 件
	個人	15 件	36 件	4 件
H28	団体	6 件	12 件	1 件
	個人	7 件	41 件	1 件

○ 効果

奨励金制度を活用することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体の育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 427

2101 学校施設開放に要する経費 462,695 円 (523,054 円)

[一財 462,695 円]

○ 目的

小中学校の学校体育施設を開放することにより、市民のスポーツ振興と健康増進を図る。

○ 内容

市民が行うスポーツ・レクリエーション、文化的活動を支援するため、学校体育施設の開放を実施した。

年度	利用団体数	登録人数	開放学校数
H29	267 団体	6,641 人	25 校
H28	254 団体	6,093 人	25 校

○ 効果

市民の健康、体力増進と学校体育施設の有効利用を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 427

2301 いきいき茨城ゆめ国体 2019 開催に要する経費 8,768,792 円 (671,480 円)

[その他 4,572 円 一財 8,764,220 円]

* 特財内訳

[諸収入：雇用保険料本人負担金 4,572 円]

○ 目的

第 74 回国民体育大会茨城大会では、自転車（トラック）、ボウリングが正式競技として取手市で開催されるので、会場地としての気運を盛り上げ、万全の体制で開催できるよう準備を行う。

○ 内容

第 74 回国民体育大会の会場地として、正式競技の自転車（トラック）、ボウリング、

公開競技の武術太極拳、デモンストレーションスポーツのエアロビック、ダンススポーツの開催を予定しており、第19回全国障害者スポーツ大会についても、効率的な開催準備を推進するために必要な組織を構成し、関係機関との緊密な連携を図った。

また、福井リハーサル大会及び愛媛国体について先催県への視察を行った。

○ 効果

国体会場地として効率的に開催準備を進め、広報PR活動を展開し、茨城国体及び障害者スポーツ大会の機運が醸成された。

6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 427

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 267,652,911 円
(142,343,711 円)

[地方債 68,700,000 円 その他 71,241,000 円 一財 127,711,911 円]

* 特財内訳

[市債：グリーンスポーツセンター整備事業債

(138,024,000 円－46,314,000 円)×75%≒68,700,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 24,927,000 円]

[諸収入：スポーツ振興くじ助成金 46,314,000 円]

○ 目的

市民スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行い、市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

○ 内容

平成18年度より、指定管理者による管理を実施している。

指定管理料 125,452,000 円

(1) 利用状況

(単位：人)

施設名	H29	H28	増減
室内プール	122,861	129,360	△6,499
遊水プール	12,962	14,983	△2,021
第一体育室	46,333	62,668	△16,335
第二体育室	8,280	11,401	△3,121
トレーニング室	64,143	62,296	1,847
柔道場	13,804	14,648	△844
剣道場	7,510	9,004	△1,494
弓道場	12,608	13,783	△1,175
健康相談室	408	64	344
スポーツ障害相談室	37	212	△175
研修室	14,422	14,234	188
会議室	692	726	△34
和室	1,477	1,176	301
その他	11,231	15,751	△4,520
合計	316,768	350,306	△33,538

(2) 工事一覧

取手グリーンスポーツセンター第1・2体育室床張替工事

91,098,000 円

〃	空調設備改修工事	20,412,000 円
〃	第1 体育室暗幕ワイヤー改修工事	3,834,000 円
〃	音響・照明制御装置改修工事	19,656,000 円

○ 効果

平成 31 年度開催の茨城国体にむけて、メインとなるフロアの改修が完了し、また空調設備の改修も終え、安全で快適な環境づくりができた。近年は中高年者の利用も増加傾向にあり、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 429

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 46,241,225 円 (80,847,115 円)

[その他 16,295,834 円 一財 29,945,391 円]

* 特財内訳

[使用料：藤代スポーツセンター使用料 9,114,500 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 5,400,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,755,000 円]

[諸収入：コピー手数料 3,490 円]

[諸収入：印刷機使用料 21,460 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 1,384 円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、また憩いの場としての公園施設の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

(1) 利用状況

施設名	H29	H28	増減
アリーナ	36,483 人	35,651 人	832 人
レクリエーション室	5,639 人	5,333 人	306 人
多目的グラウンド	6,142 人	7,688 人	△1,546 人
野球場	9,299 人	8,904 人	395 人
テニスコート	11,562 人	9,691 人	1,871 人
広場計 (ピクニック広場、クレア広場)	3,863 人		
会議室	749 人	840 人	△91 人
合計	73,737 人	68,107 人	5,630 人

(2) 工事一覧

項目	契約金額	契約期間	内容
体育館 B 系統 空調設備改修工事	4,860,000 円	H29/6/8～ 8/15	新規空調機器設置 (室内機 5 台、室外機 1 台) 既存空調機器撤去処分 (室内機 5 台、室外機 1 台)
体育館誘導灯修繕 工事	896,400 円	H29/8/31～ 10/31	誘導灯設備の交換 (8 台)

(3)備品購入

項目	金額	内容
スポーツセンター用備品	2,050,142円	サッカーゴール、サッカーゴールネット、自動血圧計、バドミントンネット、バスケットリングネット、卓球ネット、卓球用ワンタッチサポート、折りたたみテーブル、折りたたみイス、折りたたみ用台車、応接用テーブル、ロビーチェア、防風ネット、ソフトバレーボールネット、ソフトバレーボールネットアンテナを購入

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 431

2301 藤代武道場管理運営に要する経費 8,427,263円 (5,147,821円)

[その他 5,070,080円 一財 3,357,183円]

* 特財内訳

[使用料：藤代武道場使用料 1,929,080円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 2,700,000円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 441,000円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、武道場(柔道場・剣道場・弓道場)の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

(1)利用状況

施設名	H29	H28	増減
柔道場	8,520人	10,014人	△1,494人
剣道場	9,359人	9,557人	△198人
弓道場	869人	811人	58人
師範室	753人	882人	△129人
合計	19,501人	21,264人	△1,763人

(2)修繕一覧

項目	契約金額	契約期間	内容
藤代武道場共用スペース照明器具(LED)交換修繕	2,916,000円	H29/7/7～ 8/31	照明器具LEDの交換(54台)

(3)備品購入

項目	金額	内容
藤代武道場用備品	441,330円	応接用テーブル、ロビーチェア、自動血圧計、的枠を購入

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 433

2401 社会体育施設管理に要する経費 1,991,121円 (1,730,252円)

[その他 314,470円 一財 1,676,651円]

* 特財内訳

[使用料：高須体育館使用料 314,470円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、施設の維持管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

利用状況

高須体育館	H29	H28	増減
利用人数	8,551人	8,808人	△257人

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：学務給食課] P. 435

2001 給食センター運営に要する経費 142,334,427円 (136,067,297円)

[その他 123,050,277円 一財 19,284,150円]

* 特財内訳

[諸収入：幼稚園給食代 2,804,646円]

[諸収入：小学校給食代（センター分） 78,562,130円]

[諸収入：中学校給食代（センター分） 41,683,501円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食を提供する。

○ 内容

主に、子どもたちに安全な食材による給食を提供するための経費である。

賄材料費 125,983,609円

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P. 435

2101 給食センター施設整備に要する経費 35,881,132円 (65,540,714円)

[その他 4,100,000円 一財 31,781,132円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 4,100,000円]

○ 目的

給食センターの施設管理等の充実に図る。

○ 内容

安全な給食を提供するための維持管理経費である。

(1) 需用費 (単位:円)

項 目	内 容	金 額
光熱水費	水道料、電気料、ガス代	7,822,030
修繕料	調理器具及び施設等修繕料	4,840,117

(2) 委託料 (単位:円)

項 目	内 容	金 額
給食運搬業務委託料	各学校への給食配送業務	12,046,320
電気保安業務委託料	電気設備の安全管理	151,632
受水槽清掃委託料	受水槽の清掃	102,600
真空冷却機点検委託料	真空冷却機の点検	302,400
ガス空調機保守点検委託料	ガス空調機保守点検	486,000
汚水・排水処理施設清掃点検委託料	排水処理施設保守点検・浄化槽油脂の汲取り	2,170,800
ボイラー運転・管理委託料	一級ボイラー技士による運転管理	5,184,000
ボイラー設備総合管理委託料	ボイラーストレージタンク・ボイラー水の中和装置の点検整備・重油タンク清掃・ボイラー排ガス測定	1,015,200
冷凍・冷蔵設備保守点検委託料	冷凍・冷蔵設備の点検	129,600
高窓・排気ダクト清掃委託料	高窓・燃焼排気ダクトの清掃	194,400
警備委託料	施設警備	172,368
消防設備保守点検委託料	消防設備の点検	31,860
害虫駆除委託料	害虫の駆除	86,400
蒸気ボイラー・洗浄機改修工事 実施設計業務委託	年次計画による設備等の改修事業 蒸気ボイラー、洗浄機改修に伴う実施設計	1,090,800

○ 効果

安全な給食を提供するため、施設整備・衛生管理等の充実を図ることができた。